

## ミスミグループ本社 2023年3月期 連結業績

～中国経済低迷および下期景気後退等により需要が弱含むも為替効果で増収～

株式会社ミスミグループ本社は本日、2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

(百万円)	2022年3月期	2023年3月期	増減率
売上高	366,160	373,151	+1.9%
営業利益	52,210	46,615	▲10.7%
純利益	37,557	34,282	▲8.7%
1株当たり純利益	132.15円	120.53円	

### 1. 2023年3月期の連結業績ハイライト

- 当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染による影響を受け、中国では期初のロックダウンや下期における感染再拡大などにより経済活動が停滞し、需要低迷の状況が継続しました。その他の海外地域ではインフレ等の影響を受け、下期にかけて需要が次第に減速しましたが、欧米は成長を維持できました。一方、日本においては、中国不振の影響や工場稼働率低迷などにより、自動車関連需要を中心に総じて低調に推移しました。
- こうした環境において、当社はメーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の确实短納期ニーズに応えることで世界の製造業を中心とした自動化関連産業に貢献しています。これまで当社が築いてきたIT、物流、製造の強固な事業基盤やグローバル拠点網を活用し、顧客の需要を的確に捉えることに尽力しましたが、期初中国におけるロックダウンや下期にかけてグローバルで設備投資需要低迷の影響を強く受けました。
- この結果、需要減速の影響を受けましたが、為替効果もあったため、連結売上高は373,151百万円、前年同期比1.9%増(現地通貨ベース4.4%減)となりました。利益面につきましては、売上数量減および新基幹システム導入に関わる費用の増加により、営業利益は46,615百万円(前年同期比10.7%減)、経常利益は47,838百万円(前年同期比8.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は34,282百万円(前年同期比8.7%減)となりました。

## 2. 需要低迷の影響が全事業に及ぶも為替効果で増収

- 2023年3月期のセグメント別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高(百万円)		増減率	
	2022年3月期	2023年3月期	円ベース	現地通貨ベース
FA事業	119,253	<b>121,932</b>	+2.2%	▲3.9%
金型部品事業	75,108	<b>79,125</b>	+5.3%	▲4.8%
VONA事業	171,799	<b>172,093</b>	+0.2%	▲4.5%
合計	366,160	<b>373,151</b>	+1.9%	▲4.4%

- FA事業は、欧州や米州において成長が継続したものの、中国や日本の需要が低迷しました。
- 金型部品事業は、グローバルで自動車関連設備投資の後ろ倒しや工場稼働の低下により、中国やアジアを中心に低調に推移しました。
- VONA事業は、欧州や米州は堅調なEV関連の需要がけん引し、引き続き成長しましたが、中国や日本は工場稼働率低下等が大きく影響しました。

## 3. 下期減速感あるも欧米は成長維持、一方中・日は回復しきれず

- 2023年3月期の地域別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高(百万円)		増減率	
	2022年3月期	2023年3月期	円ベース	現地通貨ベース
日本	175,463	<b>172,661</b>	▲1.6%	—
海外	190,696	<b>200,489</b>	+5.1%	▲7.0%
中国	74,986	<b>68,900</b>	▲8.1%	▲18.0%
アジア	53,918	<b>56,182</b>	+4.2%	▲5.8%
アメリカ	33,899	<b>42,521</b>	+25.4%	+4.8%
ヨーロッパ	20,781	<b>24,257</b>	+16.7%	+8.1%
その他	7,110	<b>8,627</b>	+21.3%	+0.1%

- 日本では中国ロックダウンの影響や工場稼働率低迷などにより、自動車関連需要を中心に総じて低調に推移し、前年同期比1.6%の減収となりました。
- 海外は為替効果により前年同期比5.1%の増収となりました。中国では期初のロックダウンや下期における感染再拡大などにより経済活動が停滞し、需要低迷の状況が続きました。その他地域では下期にかけて需要が次第に減速しましたが、欧米は成長を維持できました。

#### 4. 年間配当金は 30.14 円の予定

- 当社は、将来にわたって競争優位性を保ち、持続的成長と企業価値向上を実現するため、IT、物流製造の事業基盤の強化やサプライチェーンの強靭化に積極的に取り組み、事業モデルを刷新し続けています。そのため、中長期的な視点での成長投資と株主の皆さまへの還元は、バランスを取りながら実施してまいります。
- 配当につきましては、経営基盤拡充、財務体質の強化、資本効率の向上なども勘案し、配当性向 25%で実施しております。これにより、2023 年 3 月期期末配当金は 12 円 34 銭(前年比 2 円 37 銭減)を予定しており、年間配当金は第 2 四半期末の 17 円 80 銭と合わせ、30 円 14 銭(前年比 2 円 90 銭減)となる予定です。

	年間配当金					
	第 2 四半期末		期末		年間合計	
	円 銭	配当性向	円 銭	配当性向	円 銭	配当性向
前回予想	—	—	14.29	25.0%	32.09	25.0%
当期実績	17.80	25.0%	12.34	25.0%	30.14	25.0%
前期実績	18.33	25.0%	14.71	25.0%	33.04	25.0%

#### 5. 連結業績予想について

- 2024 年 3 月期の連結業績予想については、下記のとおりとなります。  
今後事業環境の変化により、本業績予想は変動する可能性があります。開示すべき事象が生じた際には速やかにお知らせいたします。

2024 年 3 月期 連結業績予想(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1 株当たり 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期予想	396,000	51,000	51,400	37,800	132.84
当期実績	373,151	46,615	47,838	34,282	120.53
増減率(%)	+6.1%	+9.4%	+7.4%	+10.3%	—

注)為替の前提レートは米ドル:130.0 円、ユーロ:138.0 円、人民元:19.0 円です。

#### [業績予想に関する留意事項]

この資料に掲載されている2024年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2023 年 3 月期の連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

この件に関するお問い合わせ  
株式会社ミスミグループ本社  
コーポレート・リレーション室 IR・SR チーム  
Tel:03-6777-7501 Fax:03-5211-7502  
mail: cc@misumi.co.jp